

ひるば

113号

「うんとこしょ、どっこいしょ！」

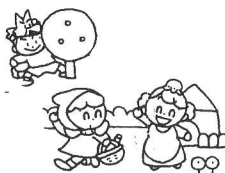
～劇ごっこは、たのしいね！～



子どもたちは、表現あそびが大好きです。保育の中でも歌や楽器遊び、ダンスなどは日頃からいろいろ楽しんでいます。絵本や物語の登場人物になって、セリフや動きで表現する劇ごっこは、また格別の楽しさがあるようです。最初は、子どもたちのよく知っている簡単なストーリーの絵本や、場面やセリフなどに繰り返しの多いおはなしから楽しんでいます。

《おじいさんがかぶのたねをまきました。「あま～い、あま～いかぶになれ、おおきなおおきなかぶになれ」…で始まるのは、子どもたちの大好きな、『おおきなかぶ』です。大きくなったかぶがなかなか抜けないので、次々と手伝ってくれる仲間を呼び、皆でつながってかぶを引っ張るおはなしです。

ある日、年少組のクラスでその絵本を読んだ後の事。担任がおもむろにジョウロを持ち、「さあ、かぶの種をまこう！あま～いあま～いかぶになれ…」と言い始めると子どもたちの目は輝いて、何が始まるのかと興味津々。「おばあさん！かぶが抜けないから手伝っておくれ！」と呼びかけると初めは何の事かわからず「え？」という感じでしたが、「おばあさんやってくれる人」と言うのと「やるやる」「私やりたーい！」と張り切って数人の子が出てきました。いざ出てくると最初は、恥ずかしそうにしている子どもたちですが、担任と一緒に簡単なことばを言ったり、掛け声をかけながらかぶを引っ張る姿は笑顔いっぱい。そんな姿を見ていた他の子どもたちもやる気満々で「僕、〇〇やる！」と決め、自分のやりたい役が呼ばれると「はい」と返事をして嬉しそうに出てきました。「かぶがぬけないからてっだっておくれ！」「いいよ！」の掛け合いもテンポよく、また「まだまだかぶはぬけません」と何回引っ張っても抜けないおもしろさも、子どもたちを自然に劇ごっこに引き込んでいくようです。呼ばれた子が「ワンワン」とその動物になって、よつんばいで出てきたり、「チューチューなんですか？」と自分からことばがでてくる位、役になりきっています。また、だんだん列が長くなるにつれて、「うんとこしょ、どっこいしょ」の声も大きくなり、時には友達とぶつかりながらも一生懸命引っ張っています。最後に全員がつながり、やっとぬけたところでは、「やった！バンザイ！」とびよんびよん跳ねて本当の事のように嬉しそうです。すっかり絵本の世界に入り劇ごっこを楽しんでいる子どもたちです。



おさそい

- *10月10日(土) 第36回運動会(雨天順延)高洲第三小学校校庭にて 9:00～
- *10月15日(木) 平成22年度入園願書配布 9:00～ 公開保育(9:45～)説明会(11:00～)
- *10月30日(金) 1日動物村 13:00～14:00 どうぶつさんとあそぼ!
- *11月1日(日) 願書受付・面接 9:00～

詳細は幼稚園玄関・通園門側掲示板でお知らせします。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。お待ちしております。



「え～!? トロルは、先生がやって！」



絵本の中にはいわゆる『わるもの』が出てくるおはなしも多いです。例えば「三匹きのやぎのがらがらどん」「三匹のこぶた」「おおかみと七匹のこやぎ」他…などがありますが、子どもたちは、どのおはなしも大好きです。でも役選びになるとやはりそのわるもの役に対しては、子どもたちの反応もさまざまです。

ある時「三匹きのやぎのがらがらどん」を読んだ後に、役を決めるのに好きな役に手を上げてもらったときのこと。「小さいやぎのがらがらどんがいい人?」「はい」、続いて二番目やぎ、一番大きいやぎと順調に数人ずつの子が手を上げたのに、トロル役の時には、予想通り誰も手を上げません。「トロルも楽しいよ。誰かやらない?」といってもやはり怖いイメージがあるらしく「え～嫌だよね!。」と友達同士顔を見合わせ、「トロルは先生がやって」と言われてしまいました。しかたなく担任がやることにしました。やぎが通る橋は机を横にして見立て、そこに隠れてやぎが通るときに「じゃんじゃーん～♪」と口伴奏で登場。「誰だ、俺のはしをがたごとさせるやつは」と低めの声で少しオーバー気味に声を出したので、『ちょっと怖かったかな?』と思いきや、子どもたちは大喜び。橋を渡って逃げるところでは、ワーワーキヤーキヤーと鬼ごっこのように大騒ぎです。もう一回やりたいというので役を替えてみると、何とトロルが大人気です。普段はちょっとおとなしめの女の子や怖いのは苦手かな? という子も嬉しそう手を上げ、元気な男の子と一緒に大きな声を出して張り切っている姿が見られました。最初は、嫌だなと思った悪いイメージの役も、やってみるとおもしろいという事がわかったようで、劇ごっこも更に楽しくなってきた子どもたちです。これからはいろいろな絵本やおはなしで楽しんでいきたいと思っています。

(園では、このような劇遊びをたくさんしながら少しずつクラスで劇作りへと移行し、毎年12月に発表会をしています。)

